第7次長泉町地域福祉計画 第6次長泉町地域福祉活動計画

令和6年度事業報告 令和6年度事業評価 施策の方向 (令和6年度事業報告より抜粋) いきいきと暮らしを支える 優しい ながいずみ 其本施策 町内5小中学校(北中学校は県社協モデル校)及び知徳高校で実施 福祉教育実践校事業 基本施策 目標の達成に向けて計画どおり進んでい 福祉健康まつりの開催 令和6年10月20日に開催、参加団体53団体 1) 地域共生の意識を深める 取り組みの推進 ボランティア養成講座の開催 傾聴講座:7人参加(1日)、外出サポーター養成講座:8人参加(1日) 2 学校における地域福祉教育の推進を実施し 町内社会福祉法人連携 連絡会等:4回開催、板橋区社会福祉法人施設等連絡会との交流 こどもの頃からの福祉意識の高揚を図った。 施策の方向1:ひとりひとり 福祉関係団体等が福祉教育に参画できるよう 2)福祉を担う人材の発掘・ ホームページ、SNS(Facebook、Instagram、LINE)による情報発信 ホームページ等運営事業 情報提供等により企画支援を実施した。 育成 職員研修:基礎知識編、SNS投稿編 ▶住民の福祉に対する理解と参加を促進するた 福祉の心を育てる め、社協だよりやホームページ、SNS等で福祉 3 ボランティアの協力による声の広報発行 のこころの醸成を図った。 『SNSアカウントを運用し、広報とホームページ 視覚障がい者情報提供事業 広報ながいずみ12回、議会だより4回、社協だより5回 3) 福祉に関する情報提供の と連携して福祉情報の発信に努めた 充実 社協だよりの発行 年5回 各号17.730部発行 地域の福祉課題の発見や解決を主体的に行う24区への支援、研修会 1 小地域福祉活動推進事業 1)となり近所で支え合う 体制づくりの推進 長泉町ボランティア連絡会加入団体:23団体(447人) 目標の達成に向けて計画どおり進んでい 2 ボランティア団体支援 情報提供:社協だより、社協ホームページ、相談:23件 保険加入:17個人、9団体(延べ205人)、施設利用料減免 2) 地域福祉活動・ボラン 施策の方向2:地域 ティア活動の活性化 ▶活動の活発化に向けて取り組んでいる福祉活 民生委員との連携 民生委員・児童委員との情報共有、定例会等への参加 動に対し、情報提供等による支援をした。 福祉団体への支援 9団体への運営費助成、4団体事務局支援 当事者同士がつながりを持ち、課題解決や周 ともに支え合う地域づくり 2 囲への支援をともに検討し、活動の場の提供 高齢者交流会 ひとり暮らし交流会:85人(10回) 及び情報提供を行った 3) 住民同士の連携による |共同募金助成事業 福祉育成援助活動費:11事業(2,778千円助成)、老人福祉活動費:4事業(511千円) 高齢者が地域の活動やボランティア活動に参 加できる機会の確保・拡充を図った。 地域福祉の推進 災害ボランティア活動用資機材に関する覚書に基づく訓練:2月10日 (生活支援体制整備事業) 歳末たすけあい見舞金事業 見舞金、助成金:105人(1,947千円助成) '赤い羽根"共同募金助成事業、歳末たすけあ い助成事業により地域において福祉活動する 4)地域における交流・居場 第1層協議会:4回、第2層協議会(3小学校区):13回 生活支援体制整備事業 団体等へ助成金を支給した。 所づくりの推進 勉強会:1回、フォーラム:1回、視察研修:2回、ニーズ調査他 4 子どもの居場所運営支援 情報交換会:7回、連絡会結成、こどもの居場所事業企画、講演会:33人参加 福祉総合相談事業 相談件数:21件(来所7件、電話14件) 1) 多様化する生活状況に対 する支援の充実 利用者:9人(高齢者1人、知的2人、精神2人、他4人) |日常生活自立支援事業 相談件数:399件(高齢者89件、知的54件、精神47件、他209件) 生活困窮者自立相談支援事業:相談825件 目標の達成に向けて計画どおり進んでい 1 生活困窮者自立支援法に基づく 家計改善支援事業:7件(相談101件)、一時生活支援事業:1件 2)総合的な相談体制の充実 事業 住居確保給付金:6件、ふじのくに型学びの心育成支援事業 施策の方向3:関係機関・体制 『重層的支援体制整備事業の中で参加支援、ア フードドライブ事業への協力、ふじのくに生活困窮者自立支援基金利用:10件 ウトリーチ等継続的支援を通じてひきこもり 暮らしを支える包括的な 生活福祉資金貸付事業 生活福祉資金貸付:1件 や複合的な課題を抱える世帯の支援に努めた 地域共生社会推進委員会を新たに設置し、外 体制づくり 重層的支援体制整備事業 参加支援事業:11件、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業:新規4件、継続23件 3)地域福祉を推進する社会 部委員等による事業の評価、検証を行う中で 3 福祉協議会の機能強化 2 福祉総合相談事業 地域住民の意見の反映に努めている ▶職員によるSWOT分析により、日常生活の導線 【新規】職員によるSWOT分析、ヒアリング、今後の方向性検討 職員と取り組む「社協の未来設計」 上に社協がある安心感を軸とした居場所の提 供など検討していくこととした。 会員拡充と基本財源確保 普通会費: 12,046口(3,613千円)、特別会員: 260口(260千円) 法人として自然災害発生時等の緊急時におけ 4)より良質な福祉サービス 車椅子貸出事業 有料貸出:37件、無料貸出(教材、選挙):15件 る基本方針を定めたBCPの見直しを行った。 提供の推進 手話通訳者派遣事業 町貸館の一部に無線LANを導入し、施設利用者 派遣:134件、養成講座:10人(25回)、手話教室:29人(2日)、体験講座:22名(1日) の利用環境の整備を図った。 福祉会館:開館309日、利用者51,390人、浴室時間延長:7~8月 施設管理 在宅福祉総合センター:開所306日、利用者7,047人 市民後見推進事業 啓発講座:33人、養成講座:9人(9日)、フォローアップ:12回 5)権利擁護の推進 法人後見事業 受任件数:後見3件、保佐6件、補助3件 2市2町合同訓練:131人(1月18日) 1) ユニバーサルデザイン・ 目標の達成に向けて計画どおり進んでい 災害ボランティアセンター バリアフリー化の推進 協働型訓練:50人(3月2日) 出前講座 113人 (6回) 『災害時に備えて、赤十字奉仕団等の関係機関 施策の方向4:環境 2 他市町災害ボラセン運営支援 沼津市派遣:1人(3日)、石川県能登町:1人(7日)、石川県珠洲市:1人(7日) と連携しながら災害ボランティアセンター立 2)防災・減災、感染症対策 ち上げ訓練を実施した。 の推進 育成研修 -被災者支援コーディネーター育成研修(県主催):1人(10回) 災害時における近隣の社会福祉 協議会との 安心・安全な環境整備 連携体制を強化し相互に支援を行う体制を構 町内災害支援 11月2日豪雨の被害者支援 災害ボランティアバス(1月24日~26日): 20人 (3日) 能登半島地震への支援 防災倉庫整備後訓練を実施した 3) 防犯対策の推進 3 新入学児童祝品贈呈事業 小学校新入学児童への黄色い帽子贈呈 (共同墓金事業)

評価

- S 目標を大きく達成している。又は目標の達成に向けて計画以上に進んでいる
- A 目標を達成している。又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる
- B 目標を達成していない。又は目標の達成に向けた進捗が少し遅れているが、計画最終年度には目標を達成する見込みである
- C 目標を大きく下回っている。又は目標の達成に向けた進捗が遅れており、取組みの強化が必要である